

繰り返し返すと、きっと  
おぼえられるよ！



第 学年 組 番 名前

分からないときは、  
ヒントを見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 日本の食物を輸出する。
- 2 姉は現在、大学生だ。
- 3 書道の才能がある。
- 4 ねこの額ほどの庭。
- 5 兄は運動部に所属している。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 しりようを集めて調べる。
- 2 手芸のぎじゅつを高める。
- 3 きわどい勝負をはんていする。
- 4 わたあめを食べる。
- 5 えいきゆうに人々の心に残る。

5	4	3	2	1

<ヒント>

- 一 「輸出」の反対の言葉は「輸入」だよ。「輸」と似ているけどちがう字だよ。
- 2 「今」という意味だよ。「現」は「現実」と、「在」は「存在」と同じ読みだよ。
- 3 「能」は「能力」と同じ読みだよ。
- 4 「おでこ」のことで、「ひこ」と読むよ。「ねこの額」は「とてもせまいこと」をたとえているよ。
- 5 団体やグループのメンバーに入っていることを「しよ〇〇」と言うよ。
- 二 1 「しげん」の「し」、「りよう」の「りよう」と同じ漢字だよ。
- 2 「ぎ」の部首は「てへん」、「じゅつ」の部首は「ぎようがまえ・ゆきがまえ(行)」だよ。
- 3 「はんだん」の「はん」、「よてい」の「てい」と同じ漢字だよ。
- 4 「めん花」や「めんシャツ」の「めん」と同じ漢字だよ。
- 5 「えい遠」の「えい」と同じ漢字だよ。「きゆう」は「ひき(しり)」とも読むよ。



第 学年 組 番 名前

分からないときは、  
ヒントを見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 多くの利益を期待する。
- 2 夏休みに統計グラフを作る。
- 3 絵をかざる場所を指示する。
- 4 防犯ベルを持つ。
- 5 居間のそうじをする。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 二人の字がにている。
- 2 ひじょう口を確かめる。
- 3 下り列車がこんざつする。
- 4 友達のさそいをことわる。
- 5 じょうほうを活用する力。

5	4	3	2	1

＜ヒント＞

- 一
  - 1 「り〇き」と読むよ。「もうけ」のことだよ。
  - 2 「統」は「統一」と同じ読みだよ。
  - 3 「指」は「指き者」と、「示」は「表示」と同じ読みだよ。
  - 4 「防」は「防火」と、「犯」は「犯罪」と同じ読みだよ。
  - 5 「居間」は「ふだん居る部屋のこと」だよ。
- 二
  - 1 「いぜん」、「いじょう」の「い」に「にんべん」を書くよ。
  - 2 「ひ」は「かな(しい)」の上の部分、「じょう」は「つね(に)」と同じ漢字だよ。
  - 3 「こん合物」の「こん」、「ぎつ」学」の「ぎつ」と同じ漢字だよ。
  - 4 「はんだん」や「おうだん歩道」の「だん」と同じ漢字だよ。
  - 5 「感じよう」の「じょう」、「ほう道」の「ほう」と同じ漢字だよ。



第 学年 組 番 名前

分からないときは、  
「ヒント」を見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 快適な温度で過ごす。
- 2 手紙の最初に前略と書く。
- 3 物を買って税金をはらう。
- 4 高い山は酸素がうすい。
- 5 眼前に広がるすばらしい風景。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 花びんの水がへる。
- 2 細かくけんさする。
- 3 国の選挙せいどを学ぶ。
- 4 犬をかい始める。
- 5 あつがみに字を書く。

5	4	3	2	1

「ヒント」

- 一 1 「快」は「快晴」と、「適」は「適切」と同じ読みだよ。
- 2 「前略」は「前文を略す」という意味だよ。
- 3 「消費税」は「税金」の一つだよ。
- 4 「酸」は「炭酸」と同じ読みだよ。
- 5 「眼」は「眼科」と同じ読みだよ。「前」は音読みをするよ。
- 二 1 「人口げん少」の「げん」と同じ漢字だよ。
- 2 「けん」の部首は「きへん」だよ。「険」と似ているよ。
- 3 「せい限」の「せい」、「温ど」の「ど」と同じ漢字だよ。
- 4 「しょくへん」と「し会者」の「し」の組み合わせだよ。
- 5 「暑(い)」や「熱(い)」という漢字を書いてはいけないよ。

たくさん言葉を使えるようになりたいね！



第 学年 組 番 名前

分からないときは、  
ヒントを見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 何よりも大切な財産。
- 2 組織の一員になる。
- 3 自分の罪をつぐなう。
- 4 国境の近くまで行く。
- 5 社会科で武士について学ぶ。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 物質がえきたいになる。
- 2 遠足のじゅんぴをする。
- 3 ぞうせんで有名な町。
- 4 身体そくていをする。
- 5 きんせん感覚を身につける。

5	4	3	2	1

ヒント

- 一 「財」は「財宝」と同じ読みだよ。
- 二 「組」は同じつくりをもつ「祖」と同じ読みだよ。
- 三 「〇み」と読むよ。「罰」と書くよ。「ばつ」と読むよ。
- 四 国と国の境目のことを「国境」と言うよ。「境」は「境界」と同じ読みだよ。
- 五 さむらいのことで、「武」は「武道」や「武器」と同じ読みだよ。
- 二一 「えき」は「きんずい」に「よる」と書くよ。
- 二二 「じゅん決勝」の「じゅん」、「設」の「び」と同じ漢字だよ。
- 二三 「ぞうせん」とは「ふねをつくること」で、漢字の順番は逆になるよ。
- 二四 「計そく」の「そく」、「予てい」の「てい」と同じ漢字だよ。
- 二五 「せん」は「かねへん」で、「せに」とも読むよ。



第 学年 組 番 名前

分からないときは、  
ヒントを見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 銅賞に選ばれる。
- 2 日程を調整する。
- 3 月一回刊行される。
- 4 一年近く留学した。
- 5 久しぶりの再会を果たす。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 数おく年前の地球。
- 2 落とし物をあずかる。
- 3 気に入ったぬのを買う。
- 4 ぜったいに成功する。
- 5 商品のきんがくを見る。

5	4	3	2	1

ヒント

- 一 1 オリンピックのメダルは「金・銀・銅」だね。
- 2 「程」は「程度」と同じ読みだよ。
- 3 新聞や本を世に出すことで、「週刊」「月刊」「月刊」などがあるよ。
- 4 「留」は「る」と読んではいけないよ。
- 5 ふたたび会うことで、「○○○○」「○○○○」と読むよ。
- 二 1 部首は「にんべん」だよ。
- 2 「おおがい」に「伊」の国「の」「よ」を組み合わせるよ。
- 3 「ぬの」は「毛ふ」の「ふ」と同じ漢字だよ。
- 4 「たい」は「体」と書いてはいけないよ。
- 5 「かく」は「おおがい」と「おきやくさん」の「きやく」を組み合わせるよ。



第 学年 組 番 名前

分からないときは、  
ヒントを見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 講演会<sup>こうげんかい</sup>でいい話を聞く。
- 2 道徳<sup>だうとく</sup>の時間にじっくりと考える。
- 3 自分の祖先<sup>せんぜん</sup>のことを調べる。
- 4 領地<sup>りやうち</sup>を広げる。
- 5 険しい山道<sup>けんしいさんだう</sup>を歩く。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 書く<sup>かく</sup>じゅんじよを考える。
- 2 せいしん<sup>せいしん</sup>的な安定<sup>あんてい</sup>を得る。
- 3 新しいねんりよう<sup>あたらしいねんりよう</sup>を探す。
- 4 事情<sup>じじょう</sup>により職<sup>しやく</sup>をしりぞく。
- 5 自分の考え<sup>かんがひ</sup>をのべる。

5	4	3	2	1

＜ヒント＞

- 一 1 「講」は同じつくりをもつ「構」と同じ読みだよ。「演」は「演そう」と同じ読みだよ。
- 2 「徳」は「人徳」、「美德」と同じ読みだよ。
- 3 「子孫」と反対の意味の言葉だよ。「祖」は「祖父」、「祖母」、「祖国」と同じ読みだよ。
- 4 「領」は「大統領」と同じ読みだよ。
- 5 問題<sup>もんだい</sup>が難<sup>むずか</sup>しすぎると、険しい表情になるよね。
- 二 1 「じよ」は「まだれ」に「伊よの国」の「よ」と書くよ。
- 2 「せい」は「こめへん」、「しん」は「しめすへん」だよ。
- 3 「ねん」は「もへる」という字だよ。「りよう」は「ざいりよう」の「りよう」だよ。
- 4 「たい院」、「たい出」の「たい」と同じ漢字だよ。
- 5 「のべる」は「じゅつ語」の「じゅつ」の訓読みだよ。



第 学年 組 番 名前

分からないときは、  
ヒントを見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

1 夫と妻。

2 古い校舎を建て直す。

3 婦人服売り場に行く。

4 毎日の習慣となってる。

5 入場者の総数を発表する。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

1 つねに自分に正直である。

2 自然豊かな町にいじゅうする。

3 日本のでんとうを見直す。

4 かこと未来。

5 車をはしによせる。

5	4	3	2	1

＜ヒント＞

一 1 「夫妻」の女性のほうだよ。

2 「舎」は「寄宿舎」や「駅舎」と同じ読みだよ。

3 「婦」は「主婦」と同じ読みだよ。

4 「習」は「学習」、「慣」は「慣用句」と同じ読みだよ。

5 「総」は「総合」や「総額」と同じ読みだよ。

二 1 「つね」は「日じよう」の「じよう」と同じ漢字だよ。

2 「いじゅう」は「よその土地へうつりすむこと」だよ。

3 「でん」の部首は「にんべん」、「とう」の部首は「いとへん」だよ。

4 「かこ」は「すぎさる」と書くよ。

5 「やねの下に大きな可能性がある」というふうに覚えるといいかもしれないよ。



第 学年 組 番 名前

分からないときは、  
ヒントを見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 自分で弁当を作る。
- 2 大きな運河を船が進む。
- 3 製品を管理する。
- 4 修正テープで直す。
- 5 重要な仕事を任される。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 今年はキウイがほうさくだ。
- 2 中学校のせいふくを着る。
- 3 すばらしいえだぶりの松。
- 4 なさけは人のためならず。
- 5 新学期に身長をはかる。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 「弁」は「関西弁」と同じ読みだよ。
- 二 「運」は「運動」と、「河」は「銀河」と同じ読みだよ。
- 三 「製」は「日本製」と同じ読みだよ。
- 四 「修」は「修理」と同じ読みだよ。
- 五 任されたことは責任をもってやるよ。
- 二一 「ほう」は「ゆた(か)」という漢字だよ。反対は「ふさく」だよ。
- 二 「せい度」の「せい」、「洋ふく」の「ふく」と同じ漢字だよ。
- 三 「きへん」に「ささ(える)」と書くよ。
- 四 「りっしんべん」に「あお」と書くよ。「感(じょう)」、「じ(ょう)熱」と同じ漢字だよ。
- 五 「そく定」の「そく」だよ。同じ読みをするものに「計る」、「量る」があるよ。



第 学年 組 番 名前

分からないときは、  
「ヒント」を見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 不安が半減する。
- 2 ノートの余白にメモをする。
- 3 アジア一帯に分布する植物。
- 4 日に当てた方が断然よく育つ。
- 5 新幹線に乗る。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 文化祭にしようたいする。
- 2 シカのむれが山に向かっていく。
- 3 しえいプールで泳ぐ。
- 4 見事なぎやくてんげきだ。
- 5 円周りつを学ぶ。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 「減」は「減少」と同じ読みだよ。同じ読みで、意味がちがう言葉に「現象」があるよ。
- 二 「余」は「余分」と同じ読みだよ。「あまったしろい部分」のことだよ。
- 三 「布」は、「ふ」ではなく、「しっ布」と同じ読みだよ。
- 四 「断」は「決断」、「然」は「自然」と同じ読みだよ。
- 五 「北陸新幹線」が走るようになったね。
- 二 一 「しよう」は「まね(く)」、「たい」は「ま(つ)」という漢字だよ。
- 二 二 「山田くん」の「くん」と「ひっじ」という字の組み合わせだよ。
- 三 「しがえい業」している「ということだよ。
- 四 「さかさ」に「ころがる」と書くんだよ。「てん」は「点」と書いてはいけないよ。
- 五 野球で「打りつ三割」ってすごいよね。

500問も解いているよ。  
みきゃんも感動！



第 学年 組 番 名前

分からないときは、  
ヒントを見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 校庭にすもうの土俵がある。
- 2 手際よく作業を進める。
- 3 綿花の輸出量を国ごとに示す。
- 4 政界の勢力図。
- 5 少年よ大志を抱け。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 才能にとむ人。
- 2 指で方角をしめす。
- 3 海外にしゅつちようする。
- 4 奈良のだいぶつを見る。
- 5 にくがんで見える星。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 「俵」には、読みをあらわす「表」という字が入っているよ。
- 二 「際」は「さい」とは読まないよ。「窓際」と同じ読みだよ。
- 三 「綿」は「綿織物」、「綿製品」と「花」は「花びん」と同じ読みだよ。
- 四 「勢」は「し勢」と同じ読みだよ。
- 五 「大」は「だい」と読んではいけないよ。「志」は「意志」や「志願」と同じ読みだよ。
- 二 一 「と(む)」は「ふじ山」の「ふ」という字だよ。
- 二 「ネ(しめすへん)」は、この字がもとになっているよ。
- 三 「ちよう」は「ゆみへん」に「なが(い)」と書くよ。
- 四 「だいぶつ」は「おおきいほとけ」だよ。
- 五 望遠鏡などを使わずに見ることだよ。「がん」は「がん科」と同じ漢字だよ。